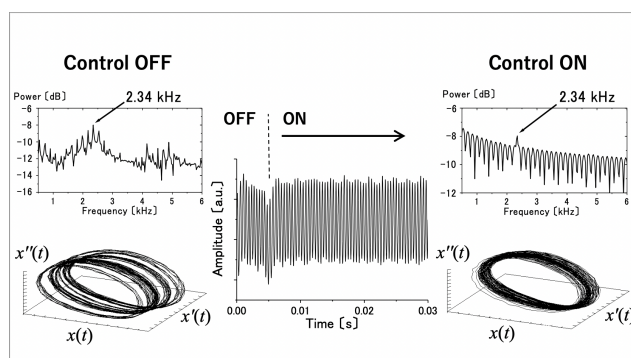


プラズマ・核融合学会誌

第98巻第2号

2022年2月

小 特 集	先進燃料核融合研究の現状と展開	
	1. 相補的燃料サイクル実現に向けた先進燃料核融合研究のすゝめ 高橋俊樹, 浅井朋彦, 水口直紀	63
	2. 先進燃料核融合プラズマ及びその核燃焼 松浦秀明	65
	3. D- ³ He, D-D 先進燃料核融合炉の探究 御手洗 修	72
	4. 慣性核融合における先進燃料研究 城崎知至	81
	5. 直線開放端磁場プラズマによる先進燃料核融合炉の研究例 ~ARTEMISを振り返って~ 百田 弘, 高橋俊樹	86
	6. 直接エネルギー変換の模擬実験研究の現状と展望 竹野裕正	91
	7. おわりに 後藤拓也, 柳 長門, 相良明男	96
講 座	荷電粒子群の閉じ込めと制御の物理が可能にした反物質研究	
	1. 非中性プラズマ研究から低速陽電子を用いた電子陽電子プラズマ研究へ ... 檜垣浩之	99
Plasma and Fusion Research 掲載論文アブストラクト	107
インフォメーション	108
	幅広いアプローチ活動だより(95)	
編 集 後 記		



表紙の絵

カオス制御に関する研究. 図は, プラズマ中の電離波動において観測されるカオス的な振動が, 時間遅れフィードバック法を用いて周期振動へ制御される過程. 電離波動からの発光強度の時間変化が, 時系列データとして測定される. 時系列, パワースペクトル, 位相空間における再構成軌道より, カオス状態 (control off) が周期状態 (control on) へ制御されることがわかる.

(Takao FUKUYAMA and Naoki NISHIDA, Plasma and Fusion Research, Vol. 17, 1201002 (2022) <http://www.jspf.or.jp/>)

【複写をされる方へ】本学会は, 本誌掲載著作物の複写に関する権利を一般社団法人学術著作権協会に委託しています. 本誌に掲載された著作物の複写をご希望の方は, (社)学術著作権協会より許諾を受けてください. 但し, 企業等法人による社内利用目的複写については, 当該企業等法人が公益社団法人日本複製権センター (社)学術著作権協会が社内利用目的複写に関する権利を再委託している団体) と包括複写許諾契約を締結している場合にあっては, その必要はありません (社外頒布用の複写については許諾が必要です).

権利委託先: 一般社団法人学術著作権協会 〒107-0052東京都港区赤坂9-6-41乃木坂ビル 2F Tel:(03)3475-5618 E-mail: info@jaacc.jp

複写以外の許諾 (著作物の引用, 転載, 翻訳等) に関しては, (社)学術著作権協会に委託しておりません. 直接当学会へお問い合わせください.